性能向上の内容チェックシート

申請者名:

×			ī	改	修	内	容	?		特 記 事 項
		現在の浴室縦横内寸と 面積	内寸 面積		mm ×		mm m²	改修後の浴室縦横内寸 と面積	内寸 mm× mr 面積 mi	改修後の面積が大きくなる工事 ※ユニットバス設置の場合を除く
	□ 浴室の改修□1ニットパスへの改修 商品名()	現在の浴槽またぎの高さ					mm	改修後の浴槽またぎの 高さ	mr	設置する浴槽の跨ぎ高さが小さくなる 工事(おおむね40cm以下)
		現在の床材の仕様						改修後の床材の仕様		滑りにくい材料を使用した工事
₹		現在の水洗器具の名 称・仕様						改修後の水洗器具の名 称・仕様		レバーハンドル式蛇口の設置工事 ワンプッシュ式シャワー設置工事
		現在の壁等の仕様						改修後の断熱性能仕様	A-1 A-2 B C D E F	省エネ等級4相当の断熱工事
		改修後の窓の仕様							気層12mm以上)入り建具 賃流率が4.00以下のもの	省エネ等級4相当の断熱工事
		埋め込み型エアコン等の設置(ヒートショック対策)								
		現在の便所縦横内寸と 面積	内寸 面積		mm ×		mm mi	改修後の便所縦横内寸 と面積	内寸 mm× mm 面積 mi	改修後の面積が大きくなる工事
		現在の便所の仕様						改修後の便所の仕様		和式から洋式への取替工事
-] 便所の改修	現在の洋式便器の座高					mm	改修後の洋式便器の座 高	mr	洋式で座高が高いものに取り替える工 事
_	」、使用の以修	現在の壁等の仕様						改修後の断熱性能仕様	A-1 A-2 B C D E F	省エネ等級4相当の断熱工事
		改修後の窓の仕様							- 気層12mm以上)入り建具 賃流率が4.00以下のもの	省エネ等級4相当の断熱工事
		埋め込み型エアコン等の設置(ヒートショック対策)								
		現在の便所縦横内寸と 面積	内寸 面積		mm ×		mm mi	改修後の便所縦横内寸 と面積	内寸 mm× mm 面積 mi	改修後の面積が大きくなる工事
		現在の洗面台仕様						改修後の洗面台仕様		洗面台下にひざが入る空間があるもの への取替工事
	〕洗面所の改修	現在の壁等の仕様						改修後の断熱性能仕様	A-1 A-2 B C D E F	省エネ等級4相当の断熱工事
		改修後の窓の仕様							気層12mm以上)入り建具 賃流率が4.00以下のもの	省エネ等級4相当の断熱工事
		埋め込み型エアコン等の設置(ヒートショック対策)								
Г	コ 台所の改修	改修工事概要								シンク下にひざが入る空間があるもの への取替工事
		改良を行う出入口の場 所								
		現在の仕様						改修後の仕様		引戸・吊戸・折戸への取替工事
	コ 出入口の改良	現在のドア/プ・開閉装置の仕様						改修後のドアノブ・開閉 装置の仕様		シングルレバーへの取替工事 バー引き手への取替工事
		現在の出入口の幅(一 般部)					mm	改修後の出入口の幅 (一般部)	mr	改修後の幅が大きくなる工事
		現在の出入口の幅(浴 室)					mm	現在の出入口の幅(浴 室)	mr	改修後の幅が大きくなる工事
	コ 通路等の拡幅	現在の通路の幅(一般 部)					mm	改修後の通路の幅(一 般部)	mr	改修後の幅が大きくなる工事
С	コ 階段の勾配緩和・ 足元照明	工事の概要								改修後の階段勾配が小さくなる工事 階段への足元照明設置工事
[] 手すりの設置	手すり設置場所								
-	7 配美の叙述等	段差解消場所								
_	段差の解消等	改修前の段差高さ					mm	改修後の段差高さ	mr	
_	床面の取替	床面を取り替える場所						•		
		現在の床面の仕様						改修後の床面の仕様		滑りにくい床材を使用する工事
_	内装の改修	内装改修場所・部位								
_		現在の仕様						改修後の仕様		壁紙にF☆☆☆☆を使用した工事
Г	コ 電気配線・給水管	改修場所・部位								
	等の改修	現在の仕様						改修後の仕様		大型スイッチへの取替工事 レバーハンドル水栓への取替工事
	〕 ホーム エレベーター	設置する機種名等								
Е	」階段昇降機	設置する機種名等								
_ t_	24時間換気設備 設置	設置する場所						設置する機種名等		第1種換気設備の設置工事

性能向上の内容チェックシート

申請者名:

事区 分			改修内	容			特	記	3	事	項
省エネルギー型	□ 屋根の葺き替え ・塗装	現在の仕様		改修後の仕様			断熱・遮 工事、遮	熱効果の 熱塗料(のある! こよる	屋根材/ 全替	への取者
	□ 外壁の張り替え ・塗装	現在の仕様		改修後の仕様			断熱・遮 事、遮熱				の取替こ
		住宅の所在市町		地域区分	ıv ·	V	省エネ等	級3相当	の断熱	エ事	
		建具の仕様等	口ガラス単板入りの建具	•	•						
	□ 住宅全体の断熱 改修	建具の設置場所									
	(省エネ基準3に適合)	断熱材の種類 (屋根又は天井)	A-1 A-2 B C D E F	[材料名]	断熱材の厚さ	mm					
		断熱材の種類 (壁)	A-1 A-2 B C D E F	[材料名]	断熱材の厚さ	mm					
		断熱材の種類 (床(その他))	A-1 A-2 B C D E F	[材料名]	断熱材の厚さ	mm					
	□ 居室の窓の断熱 改修	建具の仕様等 (断熱性能)	【窓・引戸】 ロガラス単板入りの建具の二重 ロガラス単板2枚(中間空気層12 ロ複層ガラス(空気層6mm以上) ロガラス中央部の熱貫流率が4.(Pmm以上)入り建具 入り建具	【ドア】 □フラッシュ構造 □木製 □金属製熱遮断構	告					
	(省エネ基準4に適合)	建具の設置場所									
	□ 床(基礎)の断熱 (省エネ基準4に適合)	断熱材の種類	A-1 A-2 B C D E F	[材料名]	断熱材の厚さ	mm	省エネ等	級4相当	の断熱	エ事	
	□ 屋根(天井)の断熱 (省14基準4に適合)	断熱材の種類	A-1 A-2 B C D E F	[材料名]	断熱材の厚さ	mm	省エネ等	級4相当	の断熱	工事	
	□ 外壁の断熱 (省エネ基準4に適合)	断熱材の種類	A-1 A-2 B C D E F	[材料名]	断熱材の厚さ	mm	省エネ等	級4相当	の断熱	工事	
	□ 高効率給湯器等	名称・仕様等					一定要件	-※を満た	たす設化	帯の設置	置工事
	□ 太陽熱を利用した 機器の設置	名称・仕様等					一定要件	-※を満た	たす設化	帯の設証	置工事
	□ 高断熱浴槽への 取替え	名称・仕様等					設置する 工事(お				さくな
	□ 節水型トルへの取替	名称・仕様等					洋式から のある便			L事で1	節水効
	□ LED照明設置	設置箇所		設置機器の仕様			天井埋込	.み型のi	设置工		
	□ 電気配線・給水管 等の改修	改修場所・部位		改修後の仕様			スイッチ	·付コン ⁻	セント	への取れ	替工事
防災型	□ 屋根の葺き替え ・塗装	現在の仕様		改修後の仕様			耐風瓦へ 屋根材の				
	□ 外壁の張り替え ・塗装	現在の仕様		改修後の仕様			防火構造	以上の	壁への	長替工≆	事
	□ 雨とい等の改修	現在の仕様		改修後の仕様			補強金物	ⅳ取付、釒ѕ	金物ピ	ッチの絹	縮小工
	□ 躯体の補強	改修工事概要					基礎、土 補強工事		. 柱、J	末、梁、	階段
	□ 内装の改修	内装改修場所・部位									
	- F13004/9	現在の仕様		改修後の仕様			防火材料 用した張	├(不燃村 替工事	材、準	下燃材等	等)を
	□窓・ガラス取替	改修場所		_							
	_ /b // //AKE	現在の仕様		改修後の仕様			合わせが 取替、耐				1 77~
	□ 造り付け家具・ 家具固定改修	改修工事概要					固定金物 具の造作	」設置工事 :工事	事、下	也工事、	固定
	□ 耐震改修工事	改修工事概要					耐震ベッ	ド、耐力	震コアの	の設置こ	工事
	□ 雨戸の設置	設置箇所					<u></u>				

- 〇製品を設置する場合は、製品が特定できる、メーカー名、製品番号、製品名等を記入してください。
- ○断熱材の性能仕様(A-1~F)については、住宅の省エネルギー基準の解説(第3版)を参照してください。 ○「高効率給湯器等」及び「太陽熱を利用した機器の設置」に関する一定要件とは、下記のとおりとする。

〇「高効率給湯器等」及び「太陽熱を利用した機器の設置」に関する一定要件とは、下記のとおりとする。							
住宅用太陽熱温水器	・太陽熱を集めて給湯に利用する太陽熱温水器及び不凍液等を強制循環する太陽熱集熱器と蓄熱槽から構成され、給湯や空調に利用するソーラーシステムであり、財団 法人ベターリビングの優良住宅部品(BL部品)に認定を受けたもの						
住宅用CO2冷媒ヒートポンプ給湯器(エコキュート)	・ヒートポンプ方式でCO2冷媒を使用していること ・エネルギー消費効率(COP)が3.0以上であること						
住宅用潜熱回収型給湯器(エコジョーズ)	・熱効率が90%以上であること ・定格給湯能力が60号以下である給湯器						
住宅用潜熱回収型給湯器(エコフィール)	・熱効率が90%以上であること ・定格給湯能力が60号以下である給湯器						
住宅用ガス発電給湯器(エコウィル)	・ガスエンジンユニットのJIS規格に基づく総合効率が低位発電量基準で80%以上であること						
家庭用燃料電池システム(エネファーム)	・一般社団法人燃料普及促進協会における、民生用燃料電池導入支援補助金における補助対象システムとして指定されたものであること						